

令和4年度文部科学省委託事業
「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する 実態把握アンケート調査報告書

専修学校対象

令和4年10月調査

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

◇調査方法

調査対象：大専各会員校(専修学校100校、各種学校1校)
調査方法：インターネット調査 (アンケート)
調査期間：2022年10月7日～27日
回答数：101

◇INDEX

P01	1. 調査概要／INDEX
P02	2. 回答者属性
P04	3. 本調査
P04	1-1 留学生の受入れ状況と課題(留学生を受入れていない学校)
P05	1-2 留学生受入れ断念の理由と今後の展望 (留学生を以前は受入れていた学校)
P06	1-3 留学生受入れ再開のための課題 (留学生を以前は受入れていた学校 > 受入れを検討する学校)
P07	2-1 来日前留学生のケア(留学生を受入れている学校)
P08	2-2 入学辞退者の状況(留学生を受入れている学校)
P09	2-3 海外からの直接入学の状況(留学生を受入れている学校)
P10	2-4 留学生募集のための海外現地広報(留学生を受入れている学校)
P11	2-5 留学生受入れの課題(留学生を受入れている学校)
P12	2-6 今後の留学生募集計画(留学生を受入れている学校)
P13	3-1 コロナ禍以降の留学生支援(留学生を受入れている学校)
P14	3-2 コロナ禍以降の進路指導・就職活動についての課題 (留学生を受入れている学校)
P15	3-3 コロナ禍以降における留学生採用状況(留学生を受入れている学校)
P16	3-4 就職活動先企業への要望(留学生を受入れている学校)
P17	3-5 行政等への要望(留学生を受入れている学校)
P18	3-6 留学生イベントに期待すること(留学生を受入れている学校)
P19	3-7 大専各に対する意見や要望

2 回答者属性



◇設置者および留学生在籍者数

回答数：101件

留学生数	設置者			総計
	学校法人立	その他法人立	個人立	
専修学校（専門課程）	79	10	6	95
	83.2%	10.5%	6.3%	94.1%
いない	24	6	2	32
	75.0%	18.8%	6.3%	31.7%
5人以下	14	0	0	14
	100.0%	0.0%	0.0%	13.9%
6～20人	11	0	0	11
	100.0%	0.0%	0.0%	10.9%
21～50人	9	2	1	12
	75.0%	16.7%	8.3%	11.9%
51～100人	10	1	3	14
	71.4%	7.1%	21.4%	13.9%
101～200人	6	1	0	7
	85.7%	14.3%	0.0%	6.9%
201人以上	5	0	0	5
	100.0%	0.0%	0.0%	5.0%
専修学校（高等課程）	4	0	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	4.0%
いない	3	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	3.0%
51～100人	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
専修学校（一般課程）	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
いない	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
各種学校（日本語学校）	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
201人以上	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%
総計	85	10	6	101
	84.2%	9.9%	5.9%	100.0%

◇総実員数に占める留学生数

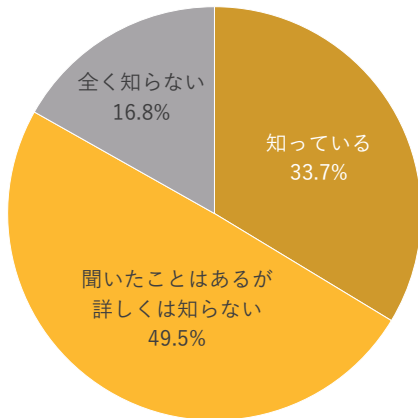
回答数：101件

		留学生数							
		いない	5人以下	6～20人	21～50人	51～100人	101～200人	201人以上	
総計		(n=101)	35.6%	13.9%	10.9%	11.9%	14.9%	6.9%	5.9%
総実員数	100人以下	(n=23)	34.8%	8.7%	17.4%	21.7%	13.0%	4.3%	0.0%
	200人以下	(n=21)	38.1%	19.0%	4.8%	0.0%	38.1%	0.0%	0.0%
	500人以下	(n=31)	38.7%	16.1%	6.5%	12.9%	3.2%	12.9%	9.7%
	1,000人以下	(n=18)	44.4%	5.6%	22.2%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%
	1,500人以下	(n=7)	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%
	2,001人以上	(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

2 回答者属性

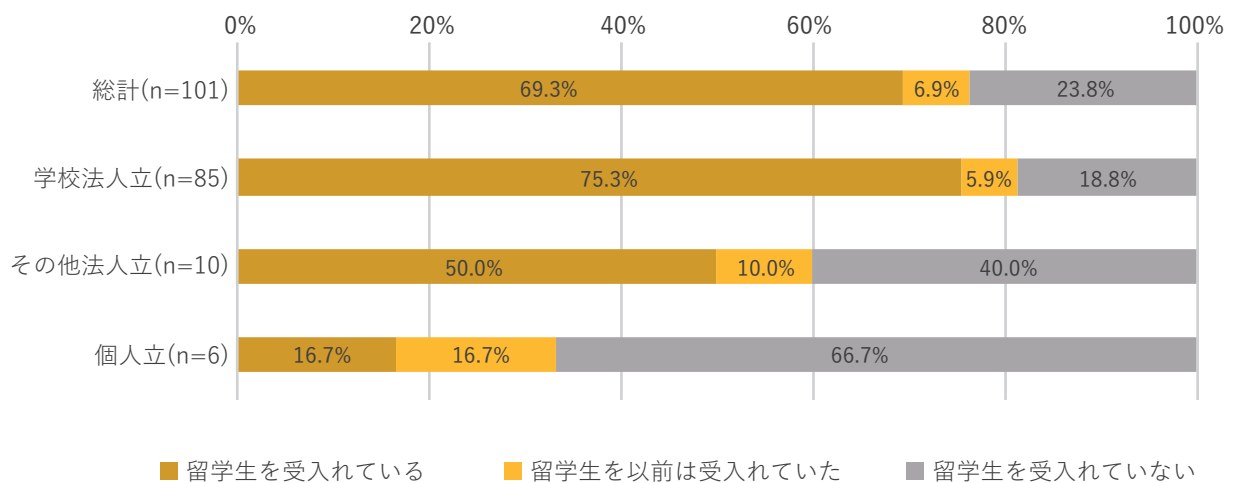
◇大専各の「留学生委員会」の活動を知っていましたか？

回答数：101件



◇留学生の受入れ状況

回答数：101件



3 本調査

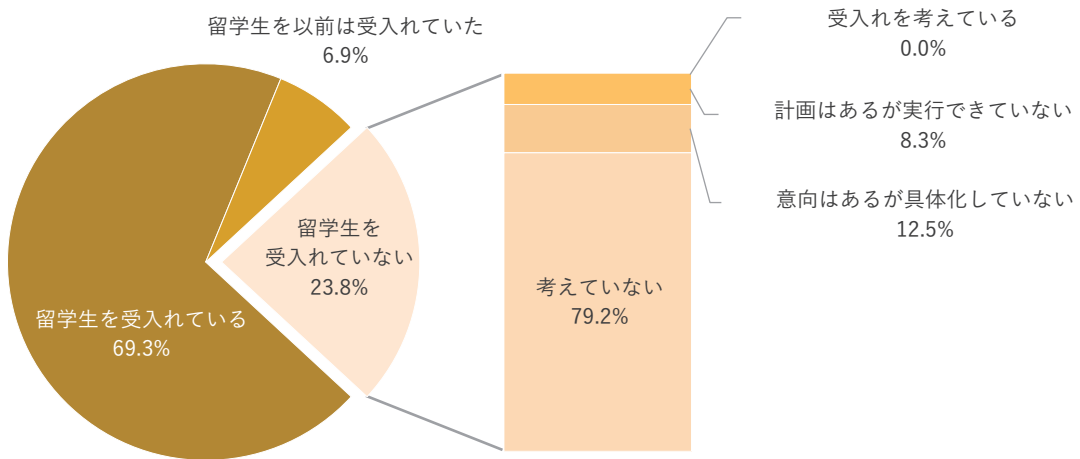
[留学生を受入れていない学校]

1-1 留学生の受入れ状況と課題

「留学生をまだ受入れていない学校(23.8%)」の今後の留学生の受入れ意向については「考えていない(79.2%)」が最多。一部今後の受入れを検討している学校もあるが、具体的な動きにつなげられていない様子が見られる。受入れ態勢が多方面で整っていないこと、人材不足などが背景にあるといえる。

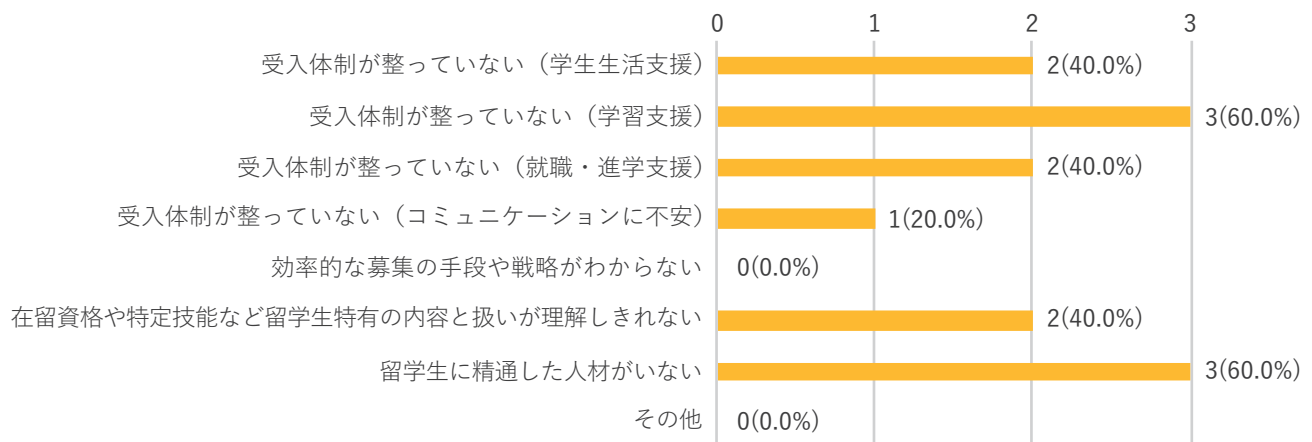
◇留学生を受入れていない学校に伺います。
今後、留学生の受入れを考えていますか？

回答数：24件



◇留学生の受入れを検討する選択肢を選んだ方に質問です。
留学生受入れの主要なハードルはどんなことですか？(複数回答可/3つまで)

回答数：5件



[留学生を以前は受入れていた学校]

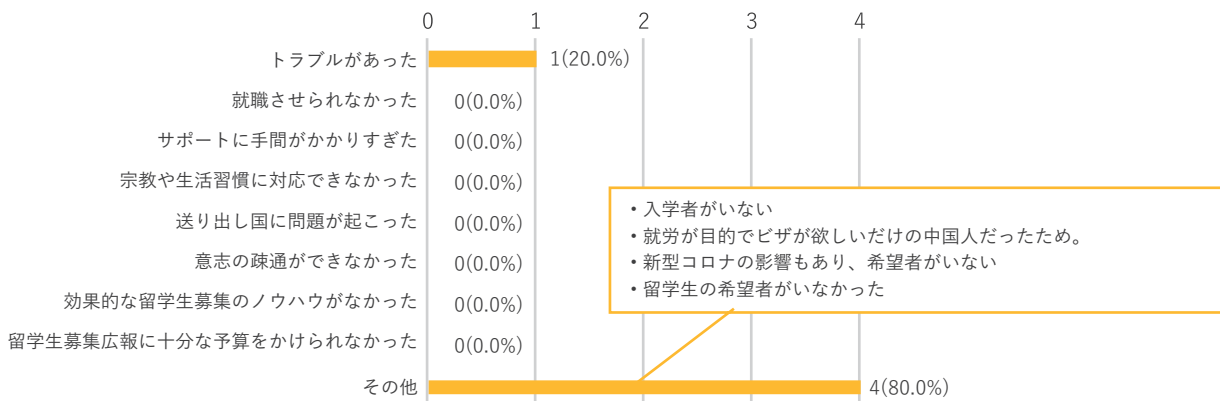
1-2 留学生受入れ断念の理由と今後の展望

「留学生を以前は受入れていた」学校に対し、受入れ停止理由を尋ねた。

留学生個人が原因のケースもあるが、コロナなどを背景とした理由を含める入学希望者減少のためという回答も複数見られた。留学生を以前受入れていた学校の今後の受入れ意向については、約6割の専門学校が受入れを考えているが、受入れを考えていない学校や具体化していない学校も多くあると言える。

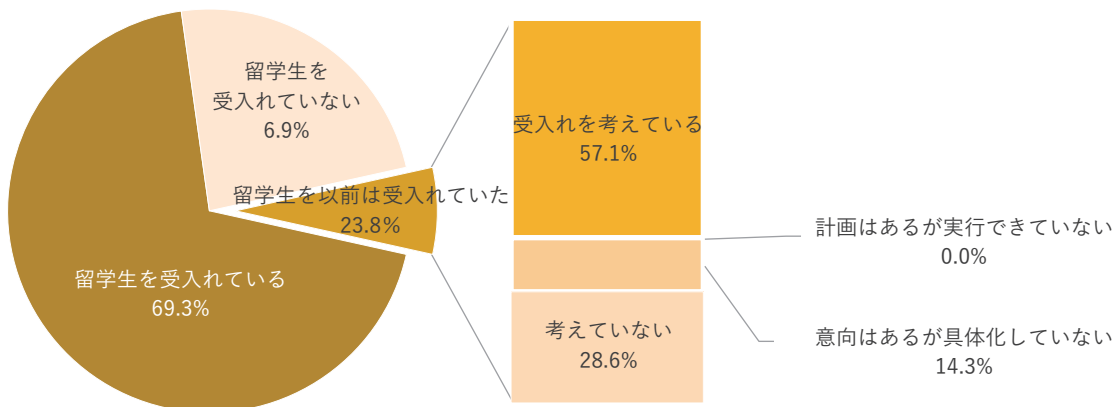
◇ 「留学生を以前は受入れていた」学校に伺います。
受入れをやめた理由を教えてください（複数回答可/3つまで）

回答数：5件



◇ 「留学生を以前は受入れていた」学校に伺います。
今後、留学生の受入れを考えていますか？

回答数：7件



3 本調査

[留学生を以前は受入れていた学校]> [受入れを検討する学校]

1-3 留学生受入れ再開のための課題

「留学生を以前は受入れていた」かつ、「今後、受入れを検討する」と回答した学校に対し、現在の受入れ再開に対するハードルを尋ねた。

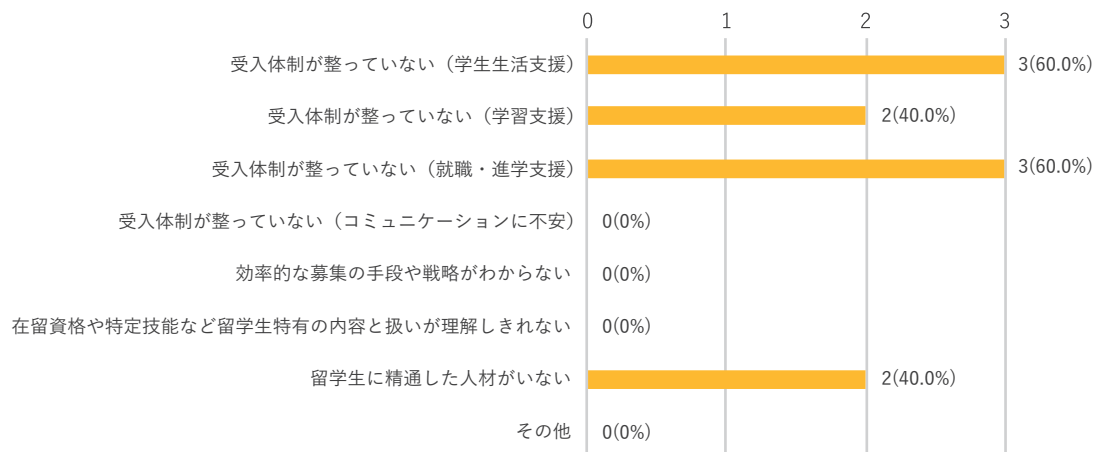
概ね留学生を受入れていない学校のハードルと重なるが、「コミュニケーションへの不安」や「在留資格や特定技能など留学生特有の内容と扱いが理解しきれない」を選択した学校がなく、受入れ実績のない学校よりもハードルは低いと言える。

反面、学生生活支援や就職・進学支援に対しての不安が、受入れたことがない学校よりも高く、ネガティブなイメージを持つ学校もあると言える。

◇留学生の受入れを検討する選択肢を選んだ方に質問です。

留学生受入れの主要なハードルはどんなことですか？(複数回答可/3つまで)

回答数：5件



3 本調査

[留学生を受入れている学校]

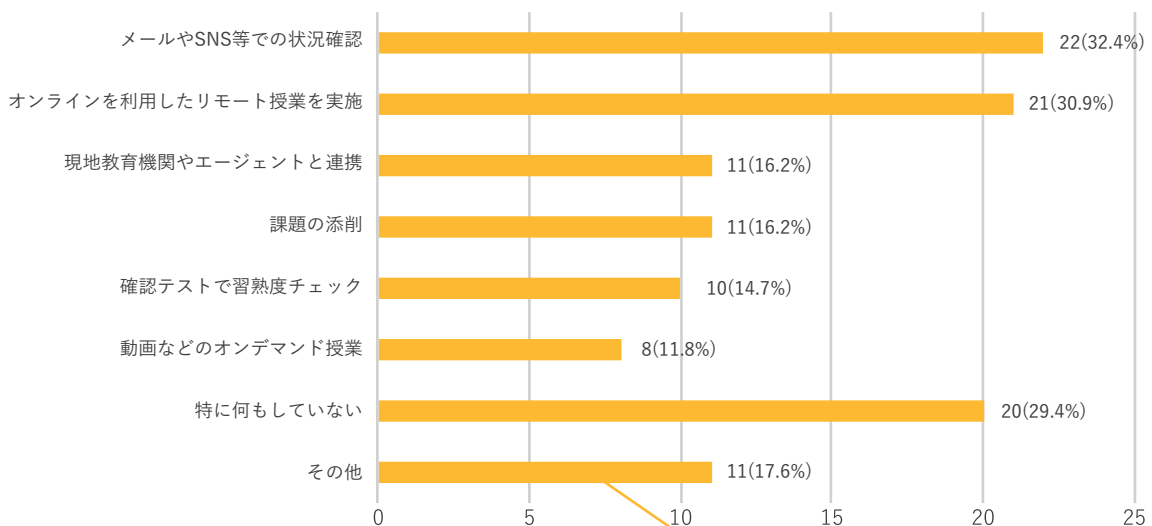
2-1 来日前留学生のケア

来日前留学生に関するケアは「メールやSNS等での状況確認」が32.4%(前回調査58.8%)と最多。オンラインを利用したりリモート授業を実施(30.9%、前回調査52.9%)と続くが、前回調査と比較してそれぞれ大きく数値が下がっており、入国開始に伴い来日前のケアがコロナ前に戻りつつあることが伺える。

「特に何もしていない」という回答も29.4%あり、こちらも前回調査より10ポイント以上増加している。

◇留学生を受入れている学校に伺います。来日前留学生のケアはどのように行っていましたか?または行っていますか?(複数回答可)

回答数: 68件



- ・海外からの直接入学希望者に対しては、Zoomを使用してオンライン面談等を行っている。
- ・ビデオアプリ等を利用したオンライン面談の実施
- ・すでに日本に入国できておりました
- ・日本にある日本語学校からの入学者のため、来日済み
- ・現地からの入学はありません
- ・海外募集は行っていません。
- ・留学生の在籍なし
- ・コロナ時期はいませんでした。
- ・コロナ禍環境下での留学生受入実績なし
- ・来日前留学生はいない
- ・来日前留学生はいない
- ・該当者無し

[留学生を受入れている学校]

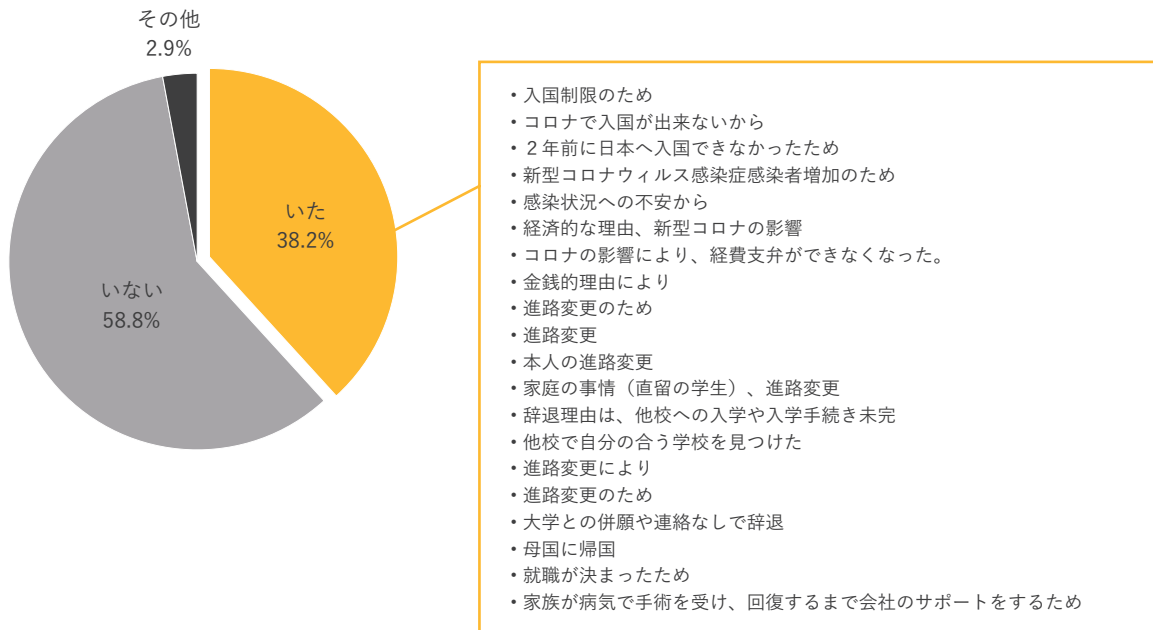
2-2 入学辞退者の状況

留学生受入れ校での「入学辞退者」は38.2%の学校で「いた」という回答があった。

入学辞退の主な理由としては、コロナ禍での入国制限や留学生活への不安、進路変更や経済的理由が確認できる。前回調査よりも進路変更を理由とする入学辞退が増加しており、コロナ禍を理由としない入学辞退者が増加傾向にある。

◇留学生の入学辞退者はいましたか？
いた場合はその他に理由もご記入ください

回答数：68件



3 本調査

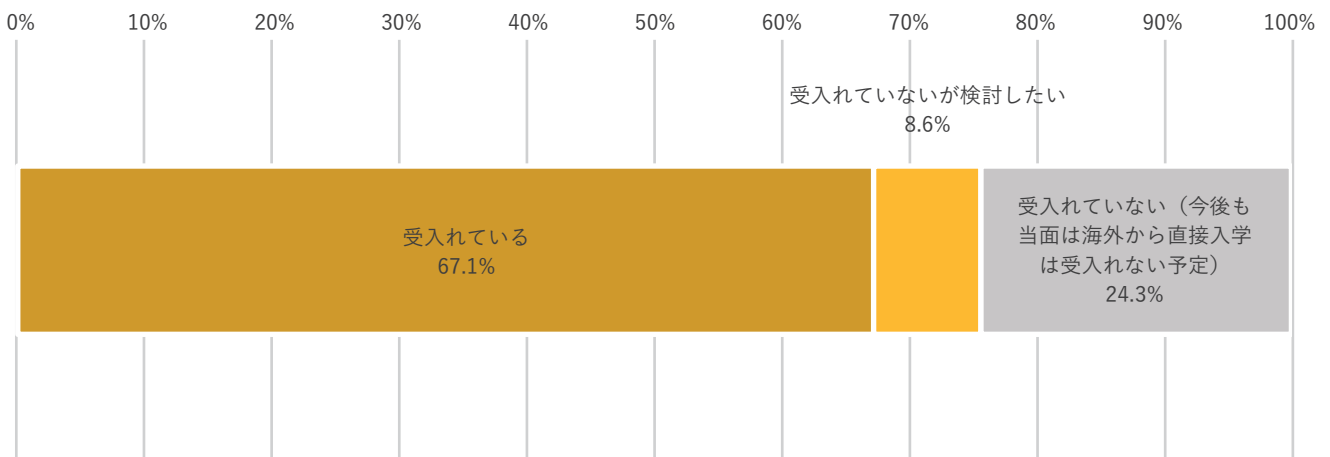
[留学生を受入れている学校]

2-3 海外からの直接入学の状況

留学生受入れ校に対し、海外からの直接入学受入れの状況については67.1%の学校が「受入れている」と回答、前回調査よりも16ポイント増加した。「受入れていないが検討したい」という学校も8.6%あり、今後も海外からの直接入学が増加していくと予想される。在籍留学生数別にみていくと、留学生数が多いほど直接受入れの割合の傾向も高いことがわかる。

◇海外からの直接入学を受入れていますか？

回答数：70件



		受入れている	受入れていないが検討したい	受入れていない (今後も当面は海外から直接入学は受入れない予定)
総計		(n=70) 67.1%	8.6%	24.3%
在籍留学生数	いない	(n=10) 40.0%	20.0%	40.0%
	5人以下	(n=14) 57.1%	0.0%	42.9%
	6~20人	(n=11) 72.7%	0.0%	27.3%
	21~50人	(n=11) 45.5%	36.4%	18.2%
	51~100人	(n=11) 100.0%	0.0%	0.0%
	101~200人	(n=7) 100.0%	0.0%	0.0%
	201人以上	(n=6) 66.7%	0.0%	33.3%

3 本調査

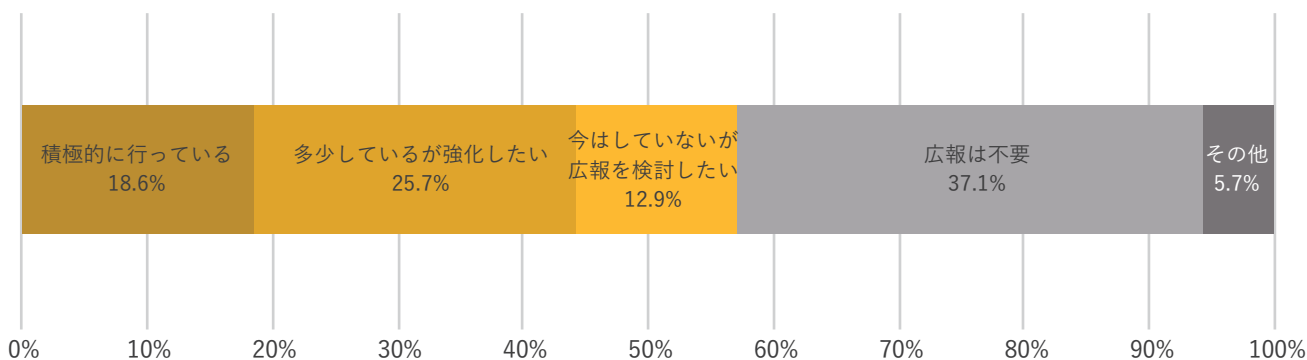
[留学生を受入れている学校]

2-4 留学生募集のための海外現地広報

留学生募集のための海外現地への広報活動については、18.6%の学校が「積極的に行っている」、25.7%が「多少しているが強化したい」と回答しているものの、「広報は不要」の回答が37.1%と最多。ただし前回調査と比較すると実施または検討の割合が増加しており、海外広報への関心が高まっていると言える。大規模校ほどすでに積極的に行っており、特に中小規模校で今後の強化意向が高い。

◇海外現地への広報について

回答数：70件



		積極的に行っている	多少しているが強化したい	今はしていないが広報を検討したい	広報は不要	その他	
総計	(n=70)	18.6%	25.7%	12.9%	37.1%	5.7%	
在籍留学生数	いない	(n=10)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	5人以下	(n=14)	7.1%	21.4%	14.3%	35.7%	21.4%
	6～20人	(n=11)	18.2%	45.5%	9.1%	27.3%	0.0%
	21～50人	(n=11)	9.1%	9.1%	18.2%	54.5%	9.1%
	51～100人	(n=11)	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%
	101～200人	(n=7)	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	201人以上	(n=6)	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%

3 本調査

[留学生を受入れている学校]

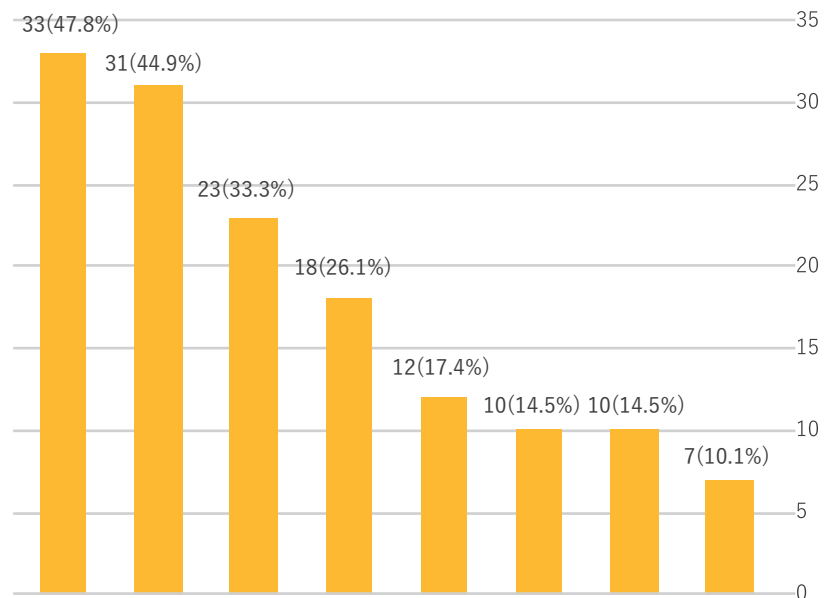
2-5 留学生受入れの課題

留学生受入れのための課題は、「留学生の経済力に不安がある」が47.8%と最多、次点で「十分な日本語能力を持った留学生が少ない」が44.9%と高い割合となっている。前回調査では日本語能力に対する課題感が7割以上あったことを考えると、語学力についての不安は減少しているものの依然として高い数値になっている。

また、「海外からの直接入学を受入れていないが検討したい」学校において、特に留学生の学力に不安を感じ、受入れのハードルとなっていることがわかる。

◇留学生受入についての課題を教えてください(複数回答可/3つまで)

回答数：69件



			留学生の経済力に不安がある	十分な日本語能力を持った留学生が少ない	留学生の学力に不安がある	生活面の把握・サポートまで行き届かない	留学生の募集に関する広報ノウハウ	海外出張がしにくい	特に課題はない	その他
総計		(n=69)	47.8%	44.9%	33.3%	26.1%	17.4%	14.5%	14.5%	10.1%
海外からの直接入学	受入れている	(n=46)	50.0%	47.8%	28.3%	23.9%	15.2%	17.4%	10.9%	8.7%
	受入れていない(今後も当面は海外から直接入学は受入れない予定)	(n=17)	41.2%	52.9%	35.3%	29.4%	23.5%	11.8%	17.6%	11.8%
	受入れていないが検討したい	(n=6)	50.0%	0.0%	66.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%

3 本調査

[留学生を受入れている学校]

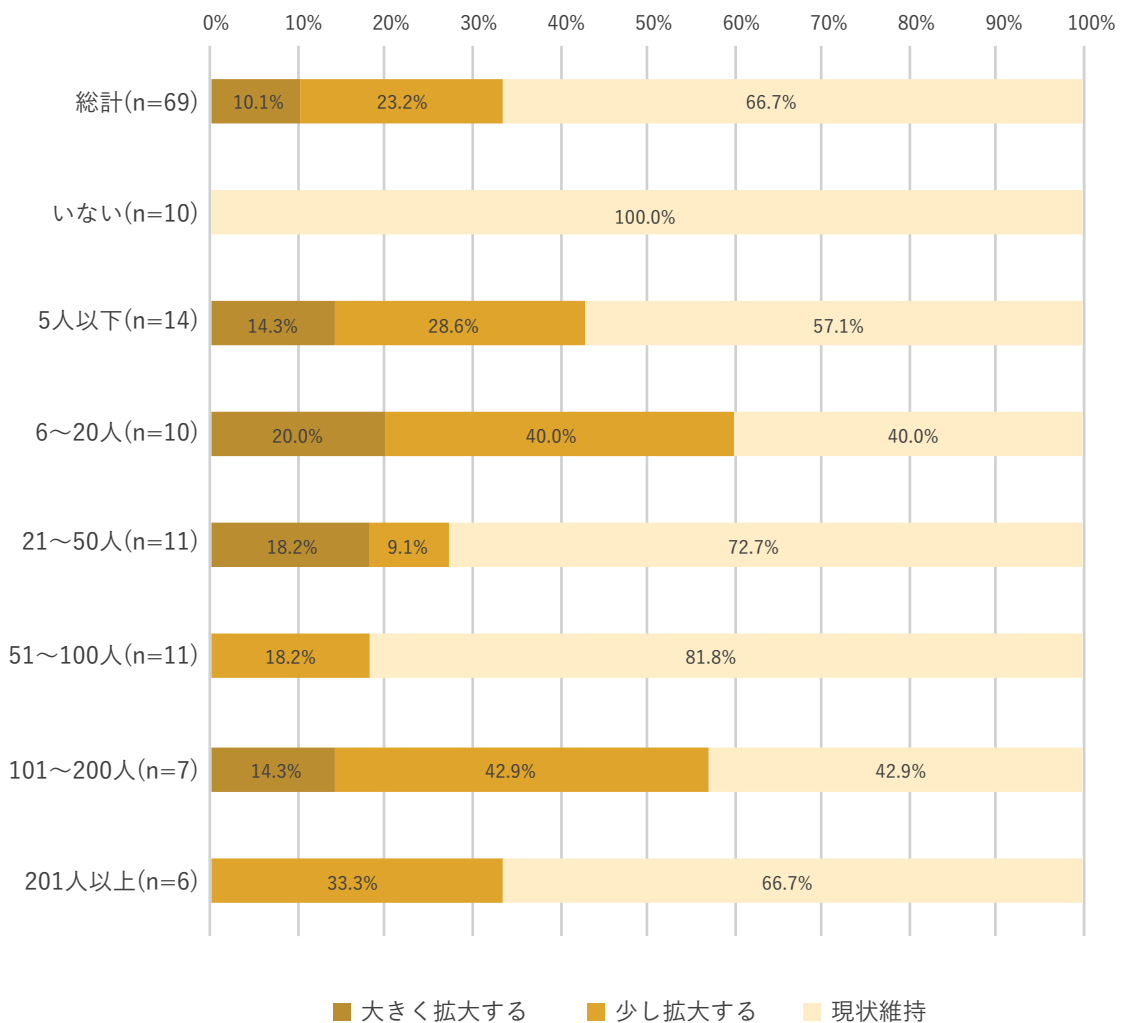
2-6 今後の留学生募集計画

今後の留学生募集計画については、「現状維持」とする学校が最も多く66.7%。一方で、「大きく拡大する(10.1%)」「少し拡大する(23.2%)」と留学生募集を拡大検討している学校は3割以上あった。

現在の留学生在籍者数別に見ると、在籍留学生が101～200人規模の学校では6割以上が募集計画を拡大する意向を見せており、51～100人規模の学校では現状維持の方針であることがわかった。

◇今後、留学生募集をどのように計画していますか？

回答数：69件



3 本調査

[留学生を受入れている学校]

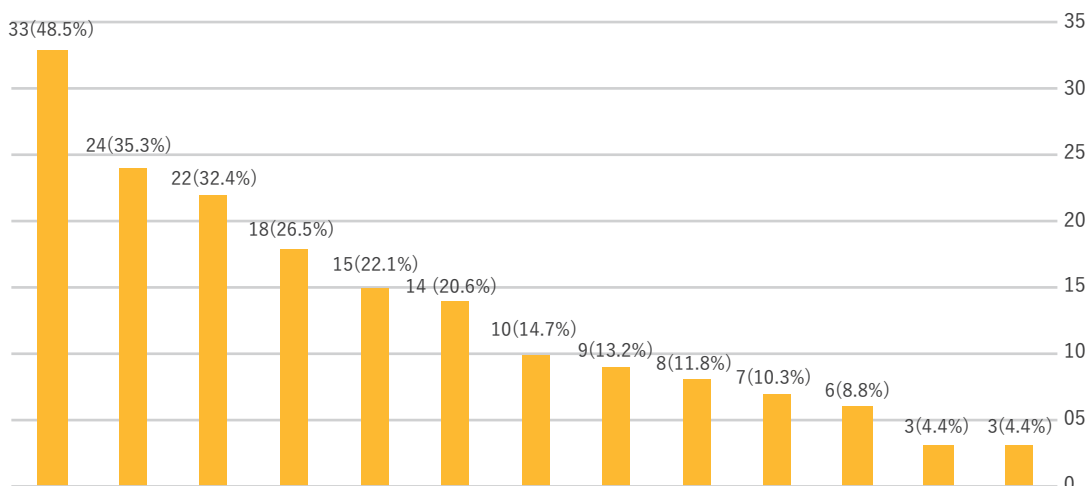
3-1 コロナ禍以降の留学生支援

コロナ禍以降の留学生支援の課題について、「日本語コミュニケーション能力の向上」が最も多く48.5%。また「経済面のサポート(35.3%)」「就職活動(32.4%)」に多く回答が集まった。

在籍留学生数別に見てみると、201人以上の学校では「就職活動(66.7%)」、51~100人規模の学校では「日本語コミュニケーション能力の向上(72.7%)」、21~50人規模の学校では「学修意欲の向上(60.0%)」、6~20人規模の学校では「就職活動(63.6%)」と規模感に依らずさまざまな課題があることがわかった。

◇貴校にとって、コロナ禍以降の留学生支援の課題を教えてください
(複数回答可/3つまで)

回答数：68件



		日本語コミュニケーション能力の向上	経済面のサポート	就職活動	学修意欲の向上	健康管理	生活環境の把握	学修スピード	資格取得	在籍管理	文化的・宗教的な問題	人間関係	ワクチン接種・PCR検査の機会提供	その他
総計	(n=68)	48.5%	35.3%	32.4%	26.5%	22.1%	20.6%	14.7%	13.2%	11.8%	10.3%	8.8%	4.4%	4.4%
在籍留学生数	いない	(n=9)	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%
	5人以下	(n=14)	42.9%	35.7%	28.6%	21.4%	7.1%	35.7%	14.3%	7.1%	28.6%	21.4%	7.1%	0.0%
	6~20人	(n=11)	54.5%	45.5%	63.6%	36.4%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	21~50人	(n=10)	40.0%	20.0%	10.0%	60.0%	40.0%	40.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	51~100人	(n=11)	72.7%	54.5%	18.2%	27.3%	36.4%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%
	101~200人	(n=7)	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%
	201人以上	(n=6)	50.0%	50.0%	66.7%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%

3 本調査

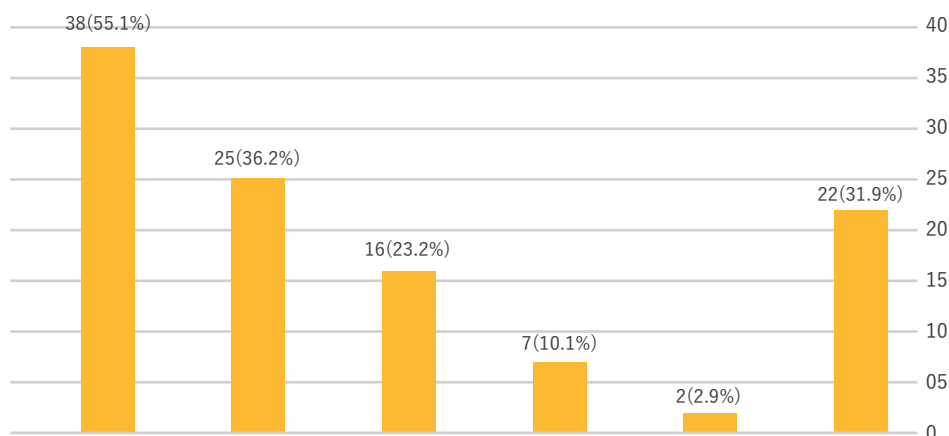
[留学生を受入れている学校]

3-2 コロナ禍以降の進路指導・就職活動についての課題

進路指導・就職活動についての現在の課題について、「日本語能力などのコミュニケーション能力不足(55.1%)」の回答が最も多く、前回調査(44.9%)よりも悪化している。入国制限に伴う来日前のオンライン授業の増加や、入国時期の遅れに伴う授業の遅れなどが影響していると考えられる。また「就職活動の仕方や、企業に対する知識が留学生に不足している(36.2%)」「留学生の専門能力不足(23.2%)」といった課題も多く、特に大規模校でこうした課題に直面していることがわかった。

◇直近の留学生の「進路指導・就職活動」についての課題を教えてください
(複数回答可/3つまで)

回答数：69件



		日本語能力などのコミュニケーション能力不足	就職活動の仕方や、企業に対する知識が留学生に不足している	留学生の専門能力不足	コロナ禍により、留学生が企業訪問できない	留学生に就職指導するための直接面談する機会が取りにくい	特になし	
総計		(n=69)	55.1%	36.2%	23.2%	10.1%	2.9%	31.9%
在籍留学生数	いない	(n=10)	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%
	5人以下	(n=14)	35.7%	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%	42.9%
	6~20人	(n=11)	81.8%	63.6%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%
	21~50人	(n=10)	80.0%	50.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	51~100人	(n=11)	63.6%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%
	101~200人	(n=7)	57.1%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%
	201人以上	(n=6)	50.0%	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%

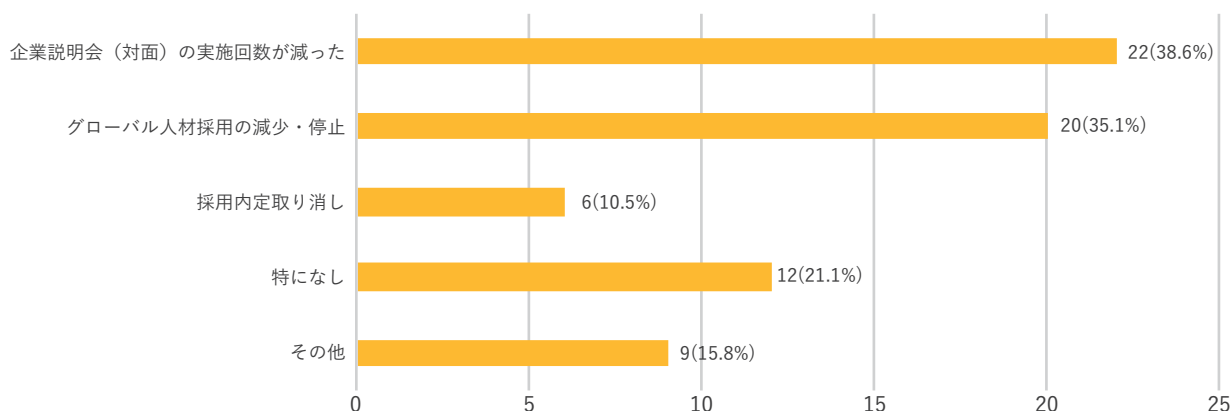
[留学生を受入れている学校]

3-3 コロナ禍以降における留学生採用状況

コロナ禍の影響で、留学生採用状況も変化している。最も顕著な変化は「企業説明会(対面)の実施回数が減った(38.6%)」で、「グローバル人材採用の減少・停止(35.1%)」も高い数値となり、コロナ禍の影響がまだまだ残ることがわかる。「採用内定取り消し(10.5%)」も一定割合見られる一方、「特になし(21.1%)」との回答も多く見られる結果となった。

◇コロナ禍以降における企業の採用状況の変化について 感じることを教えてください(複数回答可/2つまで)

回答数：57件



[その他・自由回答]

- ・事業所側がよりよい人材を確保するようになり、日本人との競争に勝ち抜かないといけないこと。
- ・コロナ禍に関わらず、栄養士を取得しても就業できない。
- ・就労ビザに関する環境変化
- ・求人票などの情報の持参などの減少/2件

(留学生の在籍なし・対象者なし/4件)

3 本調査

[留学生を受入れている学校]

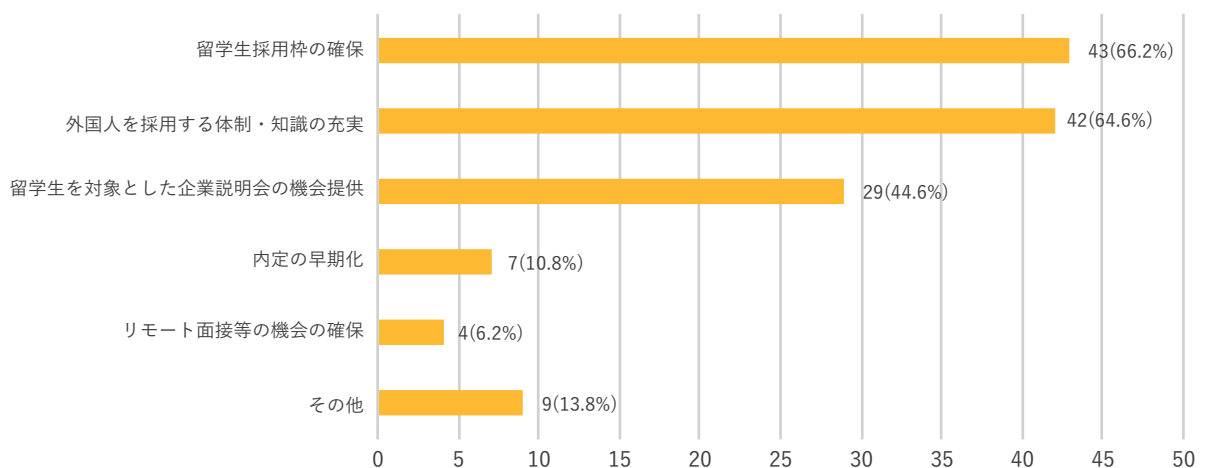
3-4 就職活動先企業への要望

就職活動先企業に対しての専修学校からの要望では「留学生採用枠の確保(66.2%)」「外国人を採用する体制・知識の充実(64.6%)」「留学生を対象とした企業説明会の機会提供(44.6%)」を要望する学校が多く見られた。

専修学校としては、留学生にも多くのチャンスが与えられ、企業側でも外国人採用への理解や体制作りが進んでいくことを期待していると言える。

◇就職活動先企業への要望を教えてください(複数回答可/3つまで)

回答数：65件



〔その他・自由回答〕

- ・現状大変よくしていただいております。
- ・国家試験合格サポート
- ・就労ビザ取得の条件と実績
- ・留学生の在籍なし/2件

(特になし/4件)

3 本調査

[留学生を受入れている学校]

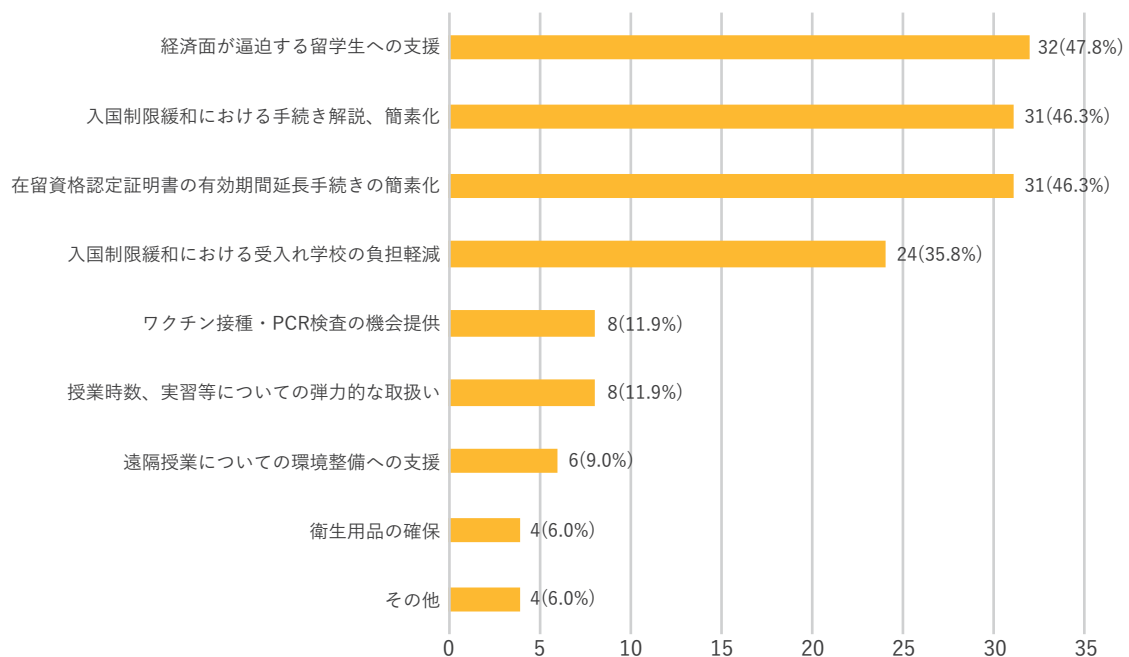
3-5 行政等への要望

行政等に対する要望としては、「経済面が逼迫する留学生への支援(47.8%)」が最多、「入国制限緩和における手続き解説、簡素化(46.3%)」「在留資格認定証明書の有効期間延長手続きの簡素化(46.3%)」と経済支援と手続きの簡素化を求める声が多く集まった。

また「入国制限緩和における受入れ学校の負担軽減」にも35.8%の要望があり、新型コロナウイルスへの対応で専修学校での負担が増大している様子がわかる。その他、環境整備への支援やコロナ禍での柔軟な対応などさまざまな現場負担の軽減を求める声があげられている。

◇留学生に関わる行政等に対する施策の要望でとくに期待するものをお答えください(複数回答可/3つまで)

回答数：67件



[その他・自由回答]

・就労ビザ発給の条件などの詳細開示

(特になし/3件)

3 本調査

[留学生を受入れている学校]

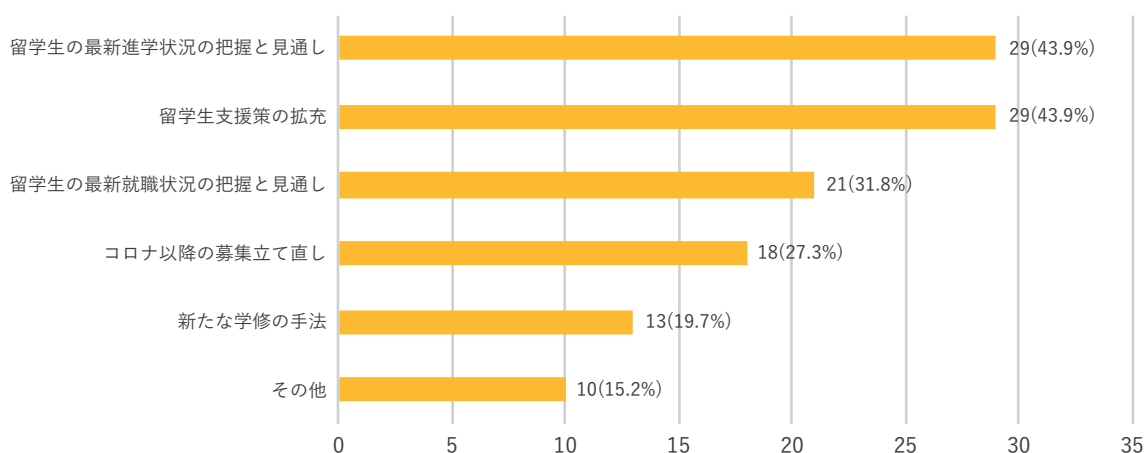
3-6 留学生イベントに期待すること

専修学校と日本語学校に関わるイベントに期待することは、「留学生の最新進学状況の把握と見通し」「留学生支援策の拡充」が同率で43.9%と最多。就職状況への関心も高い結果となり多くの学校で情報を求めていると言える。

また募集立て直しや新たな学修手法など、コロナ禍で生じたさまざまな課題に対する解決策を求める声も多く、留学生イベントに対する期待も高いことがわかる。

◇専修学校と日本語学校に関わるイベント（研修会、交流）等で、どのような内容を希望しますか？（複数回答可/3つまで）

回答数：66件



〔その他・自由回答〕

- ・留学生受け入れ状況の共有・情報交換会のような
- ・専門学校への入学資格について(近年における各国・地域の教育制度等)
- ・留学生就職採用への企業開拓方法/日本人学生の一般的な就職スケジュールとそのピークと留学生の就職スケジュールとそのピークの情報共有
- ・進学先である専門学校への期待内容

(特になし/6件)

3-7 大専各に対する意見や要望

◇留学生の受入れや就職について、大専各に対するご意見やご要望、期待することなど自由にお聞かせください (任意)

回答数：13件

- ・「平成28年度文部科学省専修学校留学生就職アシスト事業-留学生受入れのための実践的ガイドブック」は素晴らしい資料でしたが、手続き書類の変更等により、修正が必要な項目がありますので、ぜひ福岡専修学校各種学校協会とタイアップして、アップデート版を出していただければと思います。実務に関して大変有益な資料です。よろしく願いいたします。
- ・入管ご担当者様のご講演や事例紹介やセミナーなど、今後ともよろしく願いいたします。
- ・意見がないです。いつもありがとうございます。
- ・留学生受入れの手続き等についての研修をお願いいたします。
- ・on-lineガイダンス(入学説明会)の主催
- ・今後もよろしく願いいたします。
- ・今後も宜しく願い致します。

(特になし/6件)

令和4年度文部科学省委託事業

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

留学生に関する実態把握アンケート調査報告書

[専修学校対象]

発行日 2022年12月 第1版

受託 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

編集 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
(データ集計・分析 株式会社アクセスネクステージ)

住所 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20 大阪私学会館1F

TEL 06-6352-0048 FAX 06-6352-7553

大専各サイト <https://daisenkaku.or.jp/>

大専各留学生支援サイト <https://study-osaka.com/>